

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2018年・新緑号

vol.347

|季|刊|発|行|

# 日赤News

information

「糖尿病教室」のお知らせ

「腎臓病教室」のお知らせ

「赤十字講習会」のお知らせ

【特集】

あらためて注目される

## 「主治医機能」

ほっとニュース

各国赤十字社 緊急対応チームが出動

Bangladesh 南部避難民救援事業へ  
下山美穂看護師長派遣!

しずおかクロスNAVI

災害時に備えて!

病状に応じた  
非常食マニュアルを  
リニューアル

7/21開催! 第7回しずおか日赤まつり

写真は当院で働くスタッフが毎号出ます。

注目の  
トピックス

今号のテーマ: 総合内科

あらためて注目される

## 「主治医機能」

発熱やだるさ、食欲不振やむくみなど原因不明の不調に気づいた時、頼りになるのが「総合内科」。当院はその重要性に早くから注目、県内でもいち早く診療科を設立し、専門医育成にも力を入れています。いまあらためて注目される総合内科の治療について今春より第二内科部長を務める池上先生より伺います。

教えて  
ドクター  
Q & A第二内科 部長  
池上 良 医師

大阪市出身。名古屋市立大学を卒業後、研修医時代に出合った「総合プロブレム方式」が総合内科医を志すきっかけに。当院には2011年より勤務。同方式に関する研修・指導でも知られ、指導書を共著で上梓したことも。家庭では2女の良きパパ。

**Q** 総合内科ではどんな治療を行うのですか？

**A** 総合内科ではまず患者さん本人から、その時点で最も気になっている不調について話を聞き、さらに過去の病歴・治療歴、後遺症の有無、ふだんの生活の様子など詳しく伺っていきます。問診は患者さんの状況、年齢や病歴などにもよりますが、長ければ30分ほどかかることも。これらの問診と身体所見、検査所見などにより、現在の不調の原因を分析し、必要な投薬を行ったり、食事や運動などの生活指導を行いながら経過を見ていきます。

**Q** 総合プロブレム方式とはどのようなものですか？

**A** 当院で採用している「総合プロブレム方式」は、診療方式でもあり、またカルテの記載方法でもあります。ひとりの患者さんが不調を訴えた時、その不調の原因は単一の病気であることももちろんありますが、実際には複数の病気を重複して抱えている場合も数多くあります。患者さんが現在抱えている病気（プロブレム）をもれなく抽出し、それぞれのプロブレムに対して検査・治療を計画し、その決定に対して責任を負う。これが総合プロブレム方式です。



## そもそも総合内科とは？ 他科との違い、かかり方

「総合内科」という診療科には、あまりなじみのない方もいらっしゃるかもしれません。当院の場合、一般外来として来院された患者さんにはまず「階外来受付で看護師による問診を受けていただき、担当する診療科を振り分けています。

当院では呼吸器内科や消化器内科、血液内科、神経内科などの専門の診療科がありますので、明らかに専門科で診るべき症状がある場合は各科が担当します。一方、内科系疾患が疑われるもののどの専門科が定まらない症状もあり、そうした症状にお悩みの患者さんを診るのが総合内科です。また救急外来を経由して受診される患者さんも多くみられます。

## 複雑な症状を適切に整理 「総合プロブレム方式」

静岡赤十字病院では平成16年に総合内科を設立。患者さんの治療とともに、総合内科専門医の研修育成にも力を入れています。

戦後の日本で行われていた内科治療は、ごく大雑把に言えば「内臓に起こった症状全般を診る診療科」でした。やがて医療の進歩とともに医療分野の細分化が進み、各

分野でのスペシャリストが育成され、高度な医療が提供されるようになりました。しかし、それぞれの臓器疾患については高い成果を上げていて一方で、ひとりひとりの患者さんに目を向けてみれば、はっきりした原因がわからない症状というのはいくつもあります。原因不明の発熱や咳、関節痛やだるさ、食欲不振やむくみなど、ひとつひとつの症状は一見軽微に見えても、それらが重なることでつらい思いをしている方はやはり多い。こうした状況の中で、原点回帰する意味で登場したのが総合内科です。

現在のスペシャリストの診療は、その得意とする分野内での知識や経験に基づいて診療するがゆえに、分野外の病気（プロブレム）に対しての対応力が不足してしまう傾向にあります。しかし実際の患者さんが、多分野にまたがる複数のプロブレムを一度に抱えていることは珍しくありません。このような患者さんの診療において特に威力を発揮するのが、当院総合内科で採用している「総合プロブレム方式」です。

（右ページQ&A参照）。ひとつひとつはコモンディーズ（一般的な病気）であっても、それらが複数集まると、途端に病状は複

雑に見えます。総合プロブレム方式は、そんな複雑な状況の中に隠れて存在する病気や、関連する病気を適切な方法で整理し、合理的に解決するための方法です。

## 現代社会に求められる 「主治医機能」の重要性

患者さんは、ひとりひとり体質や症状が違うように、生活や人生観もそれぞれ異なります。問診や検査所見だけではなくそれぞれの患者さんの生き方まで考え、優先順位をつけながら治療にあたることは、とても重要。高度医療の提供が可能となり、また高齢化が進む現代社会では、誰もが複数の病気を抱えながら生活していくことは当たり前。そのため、個々の病気ではなく、ひとりの人間が抱える複数の病気に対して診療責任を負う「主治医機能」の重要性があらためて見直されているのです。

それぞれ異なる人間性をもつ患者さんに対して、それぞれが抱える複数のプロブレムにどう優先順位をつけるか、治療するか。そこに主治医たるべき総合内科医の役割があると考えています。



## 表紙を飾った静岡赤十字病院スタッフ

看護師 左から  
小川美乃里さん 福田早苗さん



笑顔がまぶしい新人ナースのお二人。「看護師を志望した理由には、東日本大震災の影響もありました。体験したことのない被害を目の前にして、人を助ける職業に就きたいと思うように」と小川さん。「患者さんに「診てもらってよかった」と思ってもらえる看護師になりたい」と福田さん。撮影中は終始笑っぱなしでしたが、毎日の仕事や将来の夢を話すときの表情は真剣そのもの。勤務2年めとなる今年、更なる活躍が期待されます。

## ▶ INFORMATION

7/21開催！  
第7回  
しずおか日赤まつり

皆さまのご来場を  
お待ちしております

地域のみなさんと一緒にクロス！

毎年好評をいただいている「しずおか日赤まつり」、今年は7月21日（土）に開催が決定しました。催し物など詳しくは院内ポスター、ホームページで近日ご案内予定です。ぜひ楽しみに。





各国赤十字社 緊急対応チームが出動

## Bangladesh南部避難民救援事業へ

### 下山美穂看護師長派遣!

国際赤十字の一員として世界各地での紛争や自然災害の被災者を救援し、復興活動を支援している日本赤十字社。現在ミャンマーで発生している混乱に伴い、Bangladeshへの難民流出が続く中、日本赤十字社では緊急対応ユニット(ERU)を現地に派遣。その一環として当院では手術室所属の下山美穂看護師長を派遣、1月5日～2月22日の約2ヶ月間にあたり、同国コックスバザール周辺の難民キャンプにて医療看護活動にあたりました。

同看護師長は過去にもイラン、ハイチ震災での活動経験があり、今回が3回目の海外派遣。「派遣を送り出してくれた手術室スタッフ、関係者の皆さんに感謝。過去の経験を活かし、Bangladesh南部避難民の時代背景や文化の違いを考慮し、1人1人の想いに寄り添った活動を行ないました。」(下山看護師長)



難民キャンプ内を巡回診療のため移動中



正しい手洗いの方法をレクチャーします

#### Bangladesh南部避難民について

2017年夏以降、ミャンマー・ライン州で暴力行為が相次いで発生し、現在隣国Bangladeshに68万8千人超の避難民が流出しています。食料や水、医療保健サービスが窮乏するなか、Bangladesh赤新月社\*による巡回診療やボランティアによる救援物資配布など懸命な救援活動が続けられています。

\*赤新月社:赤新月とはイスラム圏で赤十字の代わりに用いる赤い三日月マークのこと。日本赤十字社と同じ使命をもって活動する赤十字運動の一員。

## INFORMATION インフォメーション

### 「糖尿病教室」のお知らせ 15:00～

糖尿病について (糖尿病専門医・村上医師)

…4/13(金) 6/8(金) 3号館2階研修室

※やむを得ない都合等により中止となる場合がありますのでご了承ください(電話でお問い合わせください)

検査・運動について (臨床検査技師・理学療法士) …4/6(金) 5/11(金) 6/15(金)

食事・薬について (管理栄養士・薬剤師) …4/20(金) 5/18(金) 6/22(金)

網膜症・日常生活について (視能訓練士・看護師)

…4/27(金) 5/25(金) 6/29(金)

糖尿病教室食社会 11:30～ …4/18(水)・5/16(水)・6/20(水)

申し込み・お問い合わせは、2号館栄養課まで

TEL.054-254-4311(代) / 内線3103 当院に受診されている方が対象となります。

### 「腎臓病教室」のお知らせ 15:00～

腎臓を守るためのお話 …4/24(火)

場所:2号館4階 第1会議室 これから病気が気になる方もご家族の健康に不安をお持ちの方もどなたでも無料で受講できます。直接会場へお越しください。

### 「赤十字講習会」のお知らせ

「健康生活支援講習 短期講習」…5/17(木) 13:30～15:00

～認知症について正しく理解し、認知症の人々やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指しましょう～

「災害時高齢者生活支援講習」…6/5(火) 13:30～15:30

～被災した高齢者の避難所生活を支援するための知識や技術を学びます～

日本赤十字社静岡県支部ホームページからお申し込みください。

暮らしに役立つ情報をおとどけ

## しずおかクロス NAVI

災害時に備えて!

病状に応じた非常食マニュアルを  
リニューアル

災害時の非常食は炭水化物や塩分が多く、糖尿病や透析患者さんにとって食事の管理の難しさが指摘されています。当院栄養課では病状に応じた非常食マニュアルを作成、このたびリニューアル版が完成しました。レシピは当院ホームページに掲載中、ぜひ日頃からの災害時の備えにお役立て下さい。

固い乾パンが  
ソフトに変身!



#### 乾パンの卵とじ

材料(5人分)

乾パン…1/2缶 卵…2個

みつば…1/2わ だし汁…1カップ

醤油…大さじ1

酒…大さじ1

塩…小さじ1/5

作り方

1. 乾パンはたっぷりの水に30分間浸してふやかす。
2. 鍋にだし汁と調味料を入れ温め、ざるに掛けて水気を切った①を入れ煮立てる。
3. ②に溶きほぐした卵を加え切ったみつばを散らして強火で1分煮、火を止め2～3分蒸らして完成。

